

# NEWS LETTER

14時30分解禁

## 平成28年2月 全国百貨店売上高概況

平成28年3月18日

### I. 概況

1. 売上高総額	4,446億円余
2. 前年同月比	0.2% (店舗数調整後／2か月ぶりプラス)
3. 調査対象百貨店	82社 237店 (平成28年1月対比-1店)
4. 総店舗面積	6,004,508m <sup>2</sup> (前年同月比:-1.4%)
5. 総従業員数	76,143人 (前年同月比:-2.1%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	7-9月 2.7%、8-10月 2.9%、9-11月 0.9%、 10-12月 0.3%、11-1月 -1.4%、12-2月 -0.5%

[参考] 平成27年2月の売上高増減率は1.1% (店舗数調整後)

### 【特徴】

2月は温暖な気候と、閏年による営業日一日増などを要因に客足が好調に推移。降水量の多さを払拭して0.2%増と2か月ぶりにプラスを記録した。

地区別では、東京(+2.7%)、京都(+2.4%)、福岡(+1.3%)、神戸(+0.3%)、仙台(+1.4%)がリード役となり10都市計で前年を確保(+0.8%)。なお、九州(+1.9%)、中部(+0.2%)、四国(+0.3%)の健闘もあり、10都市以外の地区計でもこれまでのマイナス幅を縮小(-1.0%)。

商品別では主要5品目のうち、シェアの高い衣料品が天候条件を受けて伸び悩む一方、身のまわり品(+0.1%/3か月連続プラス)、雑貨(+7.9%/11か月連続プラス)、食料品(+1.8%/3か月連続プラス)がこれをカバーした。

細分類では前月に続き化粧品が全18地区で前年確保。17.7%増と11か月連続の増勢を保ったことに加え、美術・宝飾・貴金属もプラス(2か月ぶり)に転じた。また、バレンタイン商戦の活況から菓子も2.4%増を記録するなど、好調商材を伸ばす百貨店の強みを生かした。

訪日外国人動向は、売上高18.7%増(約183億円)、購買客数40.7%増(約25万人)とそれぞれ37か月連続プラス。過去最高を記録した消耗品シェア(約27%)の高まりなどから購買単価は低下したものの、リピート客増を含む購買品目の拡がりが顕著にあらわれている。

### 【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「2月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇日本付近は冬型の気圧配置が長続きせず全国的に気温の変動が大きかった。降水量は全国的に多く、北日本日本海側ではかなり多くなった。また、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込んだため、気温は全国的に平年を大幅に上回り各地で春一番が吹いた。日本海側の月降雪量は全国的に少なかった。

(2) 営業日数増減 28.6日 (前年同月比+1.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日 (〃 士0日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数138店舗)

①増加した: 40店、②変化なし: 45店、③減少した: 53店

(5) 2月歳時記(バレンタインデー、春節、節分、マザーニーズ)の売上 (同上／有効回答数110店舗)

①増加した: 49店、②変化なし: 43店、③減少した: 18店

**全国百貨店 売上高速報 2016年02月**

第1表 地区別売上高

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	※店舗数調整後( )が調整前
			対前年増減(-)率(%) ※
<b>全 国</b>	<b>444,674,314</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2 ( -0.2)</b>
<b>10都市</b>	<b>301,148,836</b>	<b>67.7</b>	<b>0.8</b>
札幌	11,677,841	2.6	-2.3
仙台	6,032,486	1.4	1.4
東京	120,567,786	27.1	2.7
横浜	25,449,170	5.7	-1.4
名古屋	27,416,800	6.2	-1.9
京都	17,746,799	4.0	2.4
大阪	56,205,149	12.6	-0.5
神戸	11,591,722	2.6	0.3
広島	9,355,308	2.1	-0.8
福岡	15,105,775	3.4	1.3
<b>10都市以外の地区</b>	<b>143,525,478</b>	<b>32.3</b>	<b>-1.0 ( -2.3)</b>
北海道	2,174,006	0.5	-8.7
東北	7,487,652	1.7	-1.3
関東	65,411,918	14.7	-1.4
中部	11,190,028	2.5	0.2
近畿	18,862,748	4.2	-3.2
中国	10,082,348	2.3	-1.0
四国	7,289,048	1.6	0.3
九州	21,027,730	4.7	1.9 ( -6.8)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
<b>総 額</b>	<b>444,674,314</b>	<b>100.0</b>	<b>0.2 ( -0.2)</b>
紳士服・洋品	25,879,877	5.8	-4.5 ( -5.0)
婦人服・洋品	85,109,972	19.1	-5.8 ( -6.4)
子供服・洋品	10,455,708	2.4	-1.1 ( -1.4)
その他衣料品	9,884,131	2.2	-2.2 ( -3.1)
<b>衣 料 品</b>	<b>131,329,688</b>	<b>29.5</b>	<b>-4.9 ( -5.5)</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>55,494,115</b>	<b>12.5</b>	<b>0.1 ( -0.4)</b>
化粧品	34,524,965	7.8	17.7 ( 17.5)
美術・宝飾・貴金属	25,772,980	5.8	3.7 ( 3.3)
その他雑貨	18,009,807	4.1	-2.1 ( -3.3)
<b>雑 貨</b>	<b>78,307,752</b>	<b>17.6</b>	<b>7.9 ( 7.3)</b>
家 具	5,581,044	1.3	4.0 ( 2.7)
家 電	1,291,547	0.3	-28.1 ( -28.2)
その他家庭用品	14,030,228	3.2	-0.9 ( -1.4)
<b>家 庭 用 品</b>	<b>20,902,819</b>	<b>4.7</b>	<b>-1.9 ( -2.6)</b>
生 鮮 食 品	22,268,523	5.0	-0.9 ( -1.1)
菓 子	50,268,468	11.3	2.4 ( 2.2)
惣 菜	26,029,463	5.9	1.8 ( 1.6)
その他食料品	33,291,169	7.5	2.6 ( 2.3)
<b>食 料 品</b>	<b>131,857,623</b>	<b>29.7</b>	<b>1.8 ( 1.6)</b>
<b>食 堂 喫 茶</b>	<b>12,213,167</b>	<b>2.7</b>	<b>-2.0 ( -2.3)</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>4,751,094</b>	<b>1.1</b>	<b>-3.7 ( -3.9)</b>
<b>そ の 他</b>	<b>9,818,056</b>	<b>2.2</b>	<b>4.6 ( 4.4)</b>
<b>商 品 券</b>	<b>8,701,336</b>	<b>2.0</b>	<b>-4.5 ( -4.5)</b>

(注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、

総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

# news LETTER

## II. 地区別の動き

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向      | 0.8% (2か月ぶりプラス)          |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -1.0% (店舗数調整後／4か月連続マイナス) |

### 【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>10都市</b>	<b>0.8</b>	<b>0.5</b>	<b>2か月ぶりプラス</b>
札幌	-2.3	-0.1	3か月ぶりマイナス
仙台	1.4	0.0	3か月連続プラス
東京	2.7	0.7	11か月連続プラス
横浜	-1.4	-0.1	2か月連続マイナス
名古屋	-1.9	-0.1	2か月連続マイナス
京都	2.4	0.1	7か月連続プラス
大阪	-0.5	-0.1	2か月連続マイナス
神戸	0.3	0.0	4か月ぶりプラス
広島	-0.8	0.0	4か月連続マイナス
福岡	1.3	0.0	2か月ぶりプラス
<b>10都市以外の地区</b>	<b>-1.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>4か月連続マイナス</b>
北海道	-8.7	0.0	10か月連続マイナス*
東北	-1.3	0.0	4か月連続マイナス*
関東	-1.4	-0.2	9か月連続マイナス
中部	0.2	0.0	4か月ぶりプラス
近畿	-3.2	-0.1	4か月連続マイナス
中国	-1.0	0.0	2か月連続マイナス*
四国	0.3	0.0	4か月ぶりプラス
九州	1.9	0.1	4か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

### III. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が11か月連続、身のまわり品、食料品が3か月連続のプラスとなった。また、衣料品が4か月連続、家庭用品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が11か月連続、菓子が3か月連続、その他食料品が2か月連続、美術・宝飾・貴金属、家具、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

#### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.2	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	-4.5	-0.3	4か月連続マイナス
婦人服・洋品	-5.8	-1.2	4か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.1	0.0	4か月連続マイナス
その他衣料品	-2.2	-0.1	4か月連続マイナス
衣料品	-4.9	-1.5	4か月連続マイナス
身のまわり品	0.1	0.0	3か月連続プラス
化粧品	17.7	1.2	11か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	3.7	0.2	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-2.1	-0.1	2か月連続マイナス*
雑貨	7.9	1.3	11か月連続プラス
家具	4.0	0.0	2か月ぶりプラス
家電	-28.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-0.9	0.0	3か月ぶりマイナス
家庭用品	-1.9	-0.1	2か月連続マイナス
生鮮食品	-0.9	0.0	23か月連続マイナス*
菓子	2.4	0.3	3か月連続プラス*
惣菜	1.8	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	2.6	0.2	2か月連続プラス*
食料品	1.8	0.5	3か月連続プラス
食堂喫茶	-2.0	-0.1	4か月連続マイナス
サービス	-3.7	0.0	8か月連続マイナス
その他	4.6	0.1	2か月ぶりプラス
商品券	-4.5	-0.1	60か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品について、2006年1月から細分化した。

## 平成28年2月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年3月18日

## I. 概況

1. 売上高総額	1, 205億円余
2. 前年同月比	2.7% (11か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.4%(87.1%) : 非店頭4.6%(12.9%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成28年1月対比±0店)
5. 総店舗面積	857,392m <sup>2</sup> (前年同月比: 0.3%)
6. 総従業員数	18,670人 (前年同月比: -0.2%)
7. 3か月移動平均値	7-9月 6.1%、8-10月 6.1%、9-11月 3.9%、 10-12月 3.0%、11-1月 1.0%、12-2月 1.7%

[参考] 平成27年2月の売上高増減率は5.3%

## 【特徴】

- (1) 月を通して気温が高めに推移したことや営業日数増、春節を中心とした外国人観光客の増加などを背景に、入店客数が堅調に推移(+1.6%)し、売上高は11か月連続プラス。
- (2) 衣料品は、紳士服・子供服・その他衣料品が健闘したものの、婦人服の苦戦を受けて僅かに前年を下回ったことに加え、身のまわり品も11か月ぶりにマイナスとなつたが、雑貨の11か月連続、食料品の6か月連続プラスが全体を下支えした。
- (3) 細分類では、化粧品が27.9%増で11か月連続前年を確保したほか、美術・宝飾・貴金属が2か月ぶりにプラスに転じた。食料品では生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品の4品目が4か月ぶりに揃って前年を上回るなど、入店客数の増を生かすことが出来た。
- (4) 個別商材では、前月に続きコートやセーターなど防寒衣料の動きは鈍かったものの、中旬の暖かさを受けて春物ブルゾン、ジャケット、ブラウス、カットソーに動きが見られた。また、バレンタイン、恵方巻きに加え、セレモニー対応のマザーニーズなど歳時記商品の好調も目を引いた。
- (5) 3月は月前半の気温が低く春物商材の動きが低調なことや、前年比較で日曜日1日減もあり、15日現在で約5%減。今後の気温上昇や、各社の販促企画による19日からの3連休及び月末週にかけた追い上げに期待がかかる。

## 【要因】

- (1) 営業日数増減 28.6日 (前年同月比+1.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値／前年同月比／有効回答数18店舗)  
①増加した: 7店、②変化なし: 6店、③減少した: 5店
- (3) 2月歳時記 (バレンタイン、春節、節分、マザーニーズ) の売上 (同上／有効回答数12店舗)  
①増加した: 6店、②変化なし: 5店、③減少した: 1店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2016年02月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総額</b>	<b>120,567,786</b>	<b>100.0</b>	<b>2.7</b>
紳士服・洋品	8,528,323	7.1	0.3
婦人服・洋品	20,450,101	17.0	-3.1
子供服・洋品	2,741,102	2.3	5.2
その他衣料品	2,324,791	1.9	0.8
<b>衣料品</b>	<b>34,044,317</b>	<b>28.2</b>	<b>-1.4</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>16,953,175</b>	<b>14.1</b>	<b>-0.2</b>
化粧品	10,567,950	8.8	27.9
美術・宝飾・貴金属	7,989,076	6.6	7.7
その他雑貨	5,652,675	4.7	-4.3
<b>雑貨</b>	<b>24,209,701</b>	<b>20.1</b>	<b>12.2</b>
家具	2,086,046	1.7	12.9
家電	765,077	0.6	-40.4
その他家庭用品	4,287,544	3.6	1.8
<b>家庭用品</b>	<b>7,138,667</b>	<b>5.9</b>	<b>-2.8</b>
生鮮食品	4,156,769	3.4	0.8
菓子	11,035,320	9.2	6.5
惣菜	5,944,019	4.9	3.0
その他食料品	8,731,819	7.2	2.3
<b>食料品</b>	<b>29,867,927</b>	<b>24.8</b>	<b>3.7</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>2,794,486</b>	<b>2.3</b>	<b>0.0</b>
<b>サービス</b>	<b>1,975,057</b>	<b>1.6</b>	<b>-8.4</b>
<b>その他</b>	<b>3,584,456</b>	<b>3.0</b>	<b>11.3</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
<b>商品券</b>	<b>1,877,831 千円</b>	<b>-0.9</b>
<b>従業員数</b>	<b>18,670 人</b>	<b>-0.2</b>
<b>店舗面積</b>	<b>857,392 m<sup>2</sup></b>	<b>0.3</b>
<b>営業日数</b>	<b>28.6 日</b>	<b>前年</b>
		<b>27.6 日</b>

## II. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨が11か月連続、食料品が6か月連続のプラスとなった。また、衣料品が4か月連続、身のまわり品が11か月ぶり、家庭用品が3か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が11か月連続、子供服・洋品が8か月連続、菓子、その他食料品が6か月連続、家具、その他家庭用品が3か月連続、紳士服・洋品、生鮮食品が4か月ぶり、美術・宝飾・貴金属、その他衣料品、惣菜が2か月ぶりのプラスとなつた。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	2.7	—	11か月連続プラス
紳士服・洋品	0.3	0.0	4か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-3.1	-0.6	4か月連続マイナス
子供服・洋品	5.2	0.1	8か月連続プラス
その他衣料品	0.8	0.0	2か月ぶりプラス
衣料品	-1.4	-0.4	4か月連続マイナス
身のまわり品	-0.2	0.0	11か月ぶりマイナス
化粧品	27.9	2.0	11か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	7.7	0.5	2か月ぶりプラス*
その他雑貨	-4.3	-0.2	7か月連続マイナス*
雑貨	12.2	2.2	11か月連続プラス
家具	12.9	0.2	3か月連続プラス
家電	-40.4	-0.4	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	1.8	0.1	3か月連続プラス
家庭用品	-2.8	-0.2	3か月ぶりマイナス
生鮮食品	0.8	0.0	4か月ぶりプラス*
菓子	6.5	0.6	6か月連続プラス*
惣菜	3.0	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	2.3	0.2	6か月連続プラス*
食料品	3.7	0.9	6か月連続プラス
食堂喫茶	-0.0	0.0	2か月連続マイナス
サービス	-8.4	-0.2	8か月連続マイナス
その他	11.3	0.3	7か月連続プラス
商品券	-0.9	0.0	12か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関・西田まで  
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>